

## 令和5年度 学校教育目標・指導の重点

### 1 学校教育目標

- (1) 生命を尊び、互いの価値を認め、励まし合える人間関係を築く。
- (2) 広い視野に立ち、深く考えて行動できる力を養う。
- (3) 志を高く掲げ、たくましく生きる力を育てる。

### 2 スクール・ミッション

- (1) 社会人としての基本的な資質を身に付け、地域の課題に対して主体的に考え、取り組むなど、自ら課題解決していく生徒を育成する。
- (2) 豊かな人間性や社会性を培い、自立した社会人・職業人となる生徒を育成する。
- (3) 学校教育目標と学校標語「シマレ ガンバレ」に基づき、社会人としての基礎・基本を身に付け、持続可能な地域の創り手としての資質能力を身に付け、社会に貢献できる有為な人材を育成する。

### 3 3つの方針（スクール・ポリシー）

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| ○育成を目指す資質・能力に関する方針                |  |
| 1                                 | 基本的な生活習慣の確立に向けて、自らの感性や創造性を磨く生徒を育成する。                                 |
| 2                                 | 持続可能な地域の創り手としての資質・能力を身に付けた生徒を育成する。                                   |
| 3                                 | 心身ともに健全で、思いやりの心と感謝の気持ちで、笑顔で挨拶できる生徒を育成する。                             |
| 《育成を目指す資質・能力》 1 行動力 2 協働力 3 自己指導力 |  |
| ○教育課程の編成及び実施に関する方針                |  |
| 1                                 | 学習指導要領の趣旨に則り、人間性豊かな生徒の育成を目指し、生徒の希望や地域の実態に即した教育課程を編成する。               |
| 2                                 | 各教科・科目等については、学習目標を設定し、基礎・基本を確実に身に付けるとともに、社会で生きる高校生としての学力が培われるよう編成する。 |
| 3                                 | 特別活動については、自主的・実践的な態度を育成するとともに、心身の調和のとれた発達を図るよう編成する。                  |
| ○入学者の受入れに関する方針                    |  |
| 1                                 | 基本的な生活習慣が確立している、意欲ある生徒。  |
| 2                                 | 働きながら学ぶ意思の強い生徒。  |
| 3                                 | 高校卒業後の就職や進学について目標を持っている生徒。   |

### 4 指導上の重点事項

|         |   |
|---------|---|
| 重点目標    | <p>－人間性豊かな生徒の育成を期して－</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本的な生活習慣の確立に向けて、自ら努力する姿勢をもった生徒を育成する。</li> <li>(2) 学習への意欲を高め、進路目標の実現に向けて努力する生徒を育成する。</li> <li>(3) 心身ともに健全で、思いやりの心と感謝の気持ちで、相互の生命と人権を尊重し合える生徒を育成する。</li> </ol>   |
| 学習指導    | <p>・生涯にわたって意欲的に学び続けることができる生徒の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 育成を目指す資質・能力の伸長を図るため、教科間のつながりや学習指導の改善を含めた教育課程の編成を図る。</li> <li>(2) 生徒の授業アンケートをもとに研修等を行い、授業満足度を向上させるとともに、生徒の学ぶ意欲の向上を図るよう授業改善に取り組む。</li> <li>(3) 不用意な欠課や、授業中の携帯電話使用といった授業を受けるための基本的マナーや規律についての組織的で継続的な指導を行いつつ、基礎的な学力の向上を図る。</li> </ol>                                 |
| 生徒指導    | <p>・自ら考え、判断し、責任を持って行動できる生徒の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 育成を目指す資質・能力や行事の目的を明確にし、生徒自身が作る生徒会行事へと意識を変える。</li> <li>(2) 中抜け、無断欠席、挨拶、スマホの利用に関するルールやマナー等の規範意識に関する指導を、教職員の共通理解のもとで継続して適切に行う。</li> <li>(3) 定例だけでなく、予防的視点をもった日常的な個人面談を行い、生徒が安心して学校生活を送れる体制を確保する。</li> <li>(4) 部活動をとおした人格形成を図るため、積極的な参加を促すとともに継続した取組となるよう努める。</li> </ol> |
| 進路指導    | <p>・体験的な学習により社会とのつながりを実感できる生徒の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 総合的な探究の時間において外部支援団体の講演等を活用し、マナー指導や就労意欲につながる取組を行い、キャリア教育の充実を図る。</li> <li>(2) インターンシップの有用性を伝え、参加者の増加を図り、勤労観や職業観の育成を図る。</li> <li>(3) 適切な情報提供を図りつつ、家庭との密接な連携の下、早期に進路目標を定め、自己実現に向けて主体的に取り組むよう促す。</li> </ol>  |
| 健康・安全指導 | <p>・自己管理や他者の多様性を認め合う生徒の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒個々の家庭環境や困り感を詳細に把握し、支援が必要な生徒について、個別の指導計画の作成、教職員間の情報共有など、組織的で持続的な支援を行う。</li> <li>(2) 危機管理マニュアルに則り、健康で安心・安全な学習環境の保持に努める。</li> <li>(3) 適性検査等を実施・活用し、生徒個々の性格や適性を客観的に分析しつつ生徒の声に耳を傾けるなど、生徒に寄り添った指導の充実を図る。</li> </ol>  |